

当建設産業委員会に付託された案件については、9月12日、及び19日は午前9時30分から、20日は午後3時から、いずれも委員全員出席のもと、委員会室において、慎重審査しましたので、その経過と結果をご報告申し上げます。

認定第1号中、当委員会に分割付託された案件については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

始めに、一般会計について申し上げます。

市民経済部所管分では、

狂犬病予防事業について、接種率が年々下がっているが、主な要因は何か。改善の工夫はしたか。とに対し、

近年、狂犬病が発症していないことや室内犬が増加したことにより、接種意識が薄れている状況が要因と考えます。従来の通知ハガキの内容を予防接種の主旨が伝わりやすい内容に見直しており、今後も適正な予防接種と犬の登録を管理する台帳の適正化に努めていきます。とのこと。

墓地管理事業について、使用者不明区画を早期解消する努力はしているか。今後の見通しはどのように考えているのか。とに対し、

従来からの郵送、掲示板等による周知に加え、平成28年度から新たに組み組んでいる墓石へ承継案内を直接設置する方法が、より効果的であるとわかりました。平成30年度には、8割がこの方法で解消できると見込んでいますが、残りの2割については法的手続を踏んだ後、改葬したいと考えています。とのこと。

畜産臭気監視事業について、酪農家の協力を得るために何か取り組んだか。今後の方向性はどのように考えているか。とに対し、

酪農家が臭気対策について関心を持ってもらえるよう、資材の助成等を行うことや、大同大学との研究成果を報告しました。今後は、臭気問題が解決されなければ酪農の存続は難しいことを伝え、行政とともに考えていけるよう情報共有に努めます。とのこと。

臭気指数の基準を厳しくするなど、改善のための取組みはしたか。とに対し、

臭気測定は時間と費用がかかるため、今後は、大同大学と共同研究した常時監視できる臭気センサーを使った半田市独自の監視方法を構築したいと考えており、それに基づき、酪農家へ指導していきます。とのこと。

半田市バイオマス産業都市構想がモデル地域として認定を受けたが、今後どのような方向性で進めていくのか。とに対し、

認定を受けたことにより、補助制度の活用を受けやすい状況となりました。民間企業や地元の畜産農家の協力を得ながら具体化に向け、着実に進めていきたいと考えています。とのこと。

耕作放棄地再生事業及び就農者支援事業について、成果実績が0だが、どのように捉えているか。とに対し、

第6次産業化を含めて、いかに付加価値を高めていく施策を打つかが耕作放棄地の解消につながると考えています。更に、農業が儲かる産業でなければ、担い手は生まれないため、支援できる手立てを考えていかなければならないと感じています。とのこと。

企業立地・創業支援事業について、平成28年度の主な実績と今後の見通しはどうか。とに対し、

バイオマス発電事業の企業進出やトヨタ自動織機の事業拡大が主な実績です。紹介できる土地が不足していることが従来からの課題であるため、工業団地は企業庁との話合いの中で基本設計業務を委託し、排水や土地利用計画などを設計しました。まだ調整中ですが、平成34年には売却していける見通しです。とのこと。

中心市街地まちづくり支援事業について、現状をどう捉えているか。また、課題は何か。とに対し、

各商店をアドバイザーが訪問するなど経営改善につながる支援を行ってきましたが、需要がない状況となっています。今後、地域交流拠点であるカガシヤを中心に、賑わいの創出と新たな創業をしっかりと支援していきたいと考えています。とのこと。

中心市街地の活性化について、平成28年度の成果をどのように捉えているか。とに対し、

経済課と商工会議所の取組みがまだ十分ではないと感じており、成果が上げられませんでした。今後、状況変化にも対応できるよう調査研究し、JR半田駅前の区画整理事業着手を起爆剤に、責任をもって成果を上げていきたいと考えています。とのこと。

観光振興事業について、年間の観光客数が年々増加しているが、何を課題と捉えているか。経済効果は把握しているのか。とに対し、

本市の観光において欠けているものは、回遊性と観光客の消費の機会であると考えています。観光、食事、買い物などにより、いかに滞在時間を延ばすことができるかが課題で、今後、醸すごはんやお土産品の開発に力を入れていきたいと考えています。観光の回遊性による経済効果の測定は困難であります。そのような視点ももって努めていきます。とのこと。

次に、建設部所管分では、

防災・安全社会資本整備総合交付金の道路管理に関する事業では、国費の交付額が必要額を下回った場合、当該年度で実施する事業と翌年度に送る事業があるが、どのような考え方で決めているのか。とに対し、

道路管理瑕疵の恐れがあり、緊急に対応する必要がある道路舗装事業や道路維持修繕事業は、財源補正等により予算を確保し、当該年度に実施しますが、橋梁維持修繕事業や常盤亀崎2号線道路改良事業は、国費の交付額の範囲内で実施し、残りの事業を翌年度に送っています。とのこと。

「マイレポはんだ」からの投稿件数が多く、対応に追われているが、対応に漏れはないか。また、施工後の検証は行っているか。とに対し、

担当職員以外でも進行管理ができるよう、平成28年度から課題処理表を作成し、早期対応・住民サービス向上に努めました。件数が多いため、全ての箇所の検証までは行っていませんが、工事発注前の段階で、その実施内容については確認しています。とのこと。

公園管理事業について、借地料が1,000万円程と高額だが、購入の検討はしたか。今後どのように考えているか。とに対し、

平成28年度は、購入の検討はしませんでした。が、今後は、過去の経緯等を踏まえる中で、購入について検討していきます。半田市には公園以外にも借地はあり、全庁的課題と捉えており、優先順位を付けるなど基本的な方向性を示していきたいです。とのこと。

住宅維持管理について、公営住宅の今後の方向性をどのように考えているか。とに対し、

公営住宅のあり方については、平成28年度の建設産業委員会の閉会中の調査事項のテーマであり、ご提言いただいた短期での課題について、できる限り早く実施していきます。また、将来のビジョンについては、福祉部局とも協議する中で、平成30年度中に方向性を定めたいと考えています。とのこと。

市営住宅の家賃の収納率向上へ、どのような取り組みをしているか。とに対し、

家賃収入など私的債権については、公的債権を取り扱う収納課と同様の対応はできないため、取り組めていないのが現状です。今後、先進事例を研究し、適切な処理ができるよう努めます。とのこと。

次に、平成28年度半田市中心企業従業員退職金等福祉共済事業特別会計について申し上げます。

平成28年度末の段階で事業譲渡する場合、半田市が用意しなければならない金額はいくらになるか。とに対し、

約3億5,000万円です。とのことでした。

次に、平成28年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計について申し上げます。

未売却の保留地について、どのような取組みをしたか。また、事業については、平成33年度までに終えることができるか。今後の見通しは。とに対し、

面積が大きい土地を購入しやすい大きさに分割することや、ハウジングセンターでのイベント開催、パンフレットを作成し賃貸アパートへ配布するな

どの PR を行いました。また、事業計画である平成33年度に完了できるように努めていきます。とのことでした。

次に、平成28年度半田市黒石墓地事業特別会計について申し上げます。

残りの区画数が297区画と多く感じるが、募集条件を変更するなど、改善策はあるか。今後の見通しはできているのか。とに対し、

募集条件の変更は、これまでの使用希望者への条件と不平等になってしまいうためできませんが、将来的には管理費を取る方向で考えています。管理費のあり方については、新旧の区画で条件が異なるため、今後しっかり検討していきます。とのことでした。

以上のような質疑を行った後、討論を省略し、一般会計と3件の特別会計を採決しました。

まず、平成28年度半田市一般会計の歳入歳出決算のうち、当委員会に分割付託された案件については、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって認定することに決定しました。

次に、平成28年度半田市中小企業従業員退職金等福祉共済事業特別会計歳入歳出決算、平成28年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算および、平成28年度半田市黒石墓地事業特別会計歳入歳出決算の3会計については、討論を省略し、それぞれ採決した結果、いずれも委員全員をもって認定することに決定しました。

次に、認定第3号について、補足説明の後、慎重審査し、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって認定することに決定しました。

次に、認定第4号について、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

平成28年度から地方公営企業法の適用で企業会計に変わったが、どのような変化があったか。とに対し、

消費税が節減できたことをはじめ、業務を経営的な角度から見ることができ、今後の方向性を判断できるよう、しっかり努力していきたいと考えています。職員には、案件ごとの費用対効果等を慎重に見極めることなど、経営的感覚を養えるよう意識づけを行いました。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって認定することに決定しました。

以上、ご報告申し上げます。